

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2010年

本屋大賞

## ノミネート作品発表

『1Q84』

村上春樹

(新潮社)

『神様のカルテ』

夏川草介

(小学館)

『神去なあなあ日常』

三浦しをん

(徳間書店)

『植物図鑑』

有川浩

(角川書店)

『新参者』

東野圭吾

(講談社)

『天地明察』

冲方丁

(角川書店)

『猫を抱いて象と泳ぐ』

小川洋子

(文藝春秋)

『船に乗れ！』

藤谷治

(ジャイブ)

『ヘヴン』

川上未映子

(講談社)

『横道世之介』

吉田修一 (毎日新聞社)

書籍名五十音順

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は08年12月1日から09年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)